

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2447 SCMP2447 SBMP2447 EDTS2104						
2. 授業担当教員	磯辺 武雄								
4. 授業形態	講義、演習 (視聴覚教材の鑑賞、問題解決のためのグループワーク・ロールプレイングなどを含む)	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	「学習指導要領」の改訂により、各教科、総合的な学習の時間等の授業改善が求められている今日、教師は「よりよい授業づくり」のために、さまざまな教育方法を学ぶことが求められています。この授業では、基本的な指導方法・学習方法について説明するとともに、その方法の効果・問題点を整理し、教育実習時の授業場面に役立つ教育の(方法)を身につけることを目的とします。具体的には、授業場面の事例をもとに、(方法)への理解を深めると同時に、その工夫・改善のあり方について検討します。その上で、グループワークによる「模擬授業」を実施し、「授業づくり」の過程におけるPDCAサイクル (Plan [企画] -Do [実行] -Check [評価] -Action [改善]) を体験的に学びます。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校・高等学校教諭等を目指す学生に求められる基本的な教授学習理論を理解し、重要な用語について説明することができる。 2. 基本的な指導方法・学習方法を理解した上で、「模擬授業」において実際にその方法論にもとづいた指導案を作成し、授業を展開することができる。 3. 自ら実施した(あるいは他の受講生が実施した)「模擬授業」の問題点を検討し、次の授業に生かすことができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中心の他に、アクティブラーニングの授業形態も予定している。 ・グループワークの際は、関連資料等を必ず事前準備し、積極的にグループ討議に参加すること。 ・必要に応じてレポート、小テストを課すことがある。 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 田中耕治・鶴田清司・橋下美保・藤村宣之『新しい時代の教育方法 改訂版』有斐閣アルマ、2019年。</p> <p>【参考書】 松平信久・横須賀薫『新訂教育の方法・技術』教育出版 2014年。 中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 生徒指導提要 (平成 22 年 3 月告示 文部科学省) その他必要に応じてプリントを配布する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 基本的な教授学習理論を理解し、専門教科の授業づくりに生かし、模擬授業を実践し、授業改善に結びつけることができる。</p> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>30%</td> </tr> </table>			1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%	2 課題レポート	30%	3 期末試験	30%
1 日常の授業態度 (参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%								
2 課題レポート	30%								
3 期末試験	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質向上に関わる自己目標、自己課題をもち授業に参加して下さい。 ・授業中の私語、飲食等は慎んで下さい。 ・レポート、アサイメントについての提出物は必ず期限厳守して下さい。 								
13. オフィスアワー	授業終了後、教室にて適宜時間を設けます。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション -授業の進め方・教育方法論を学ぶ意義-	事前学習	教科書「序章」(pp. 1~8) を読んでおく。						
		事後学習	教育方法を学ぶ意義について考える。本時の授業のポイントをノートに整理する。						
第2回	西洋における教育思想と教育方法 (第1章前半—近代の教育思想と教育方法—)	事前学習	教科書「第1章」1・2 (pp. 11~29) を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第3回	西洋における教育思想と教育方法 (第1章後半—現代の教育思想と教育方法—)	事前学習	教科書「第1章」3 (pp. 29~41) を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第4回	子どもは何を学ぶか (第4章)	事前学習	教科書「第4章」(pp. 103~120) を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第5回	学習とは何か (第5章)	事前学習	教科書「第5章」(pp. 121~141) を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第6回	学力をどう高めるか (第6章)	事前学習	教科書「第6章」(pp. 143~168) を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。						

第7回	授業をどうデザインするか(第7章)	事前学習	教科書「第7章」(pp.169~200)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	※教育の道具・素材・環境を考える(第8章) ※情報機器の活用	事前学習	教科書「第8章」(pp.201~222)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	何をどう評価するのか(第9章)	事前学習	教科書「第9章」(pp.223~244)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容をノートに整理し、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	学習指導案の作成(1) ~学習指導案(略案)の作成方法について~	事前学習	配布資料「学習指導案(略案)作成資料」を熟読してくる。
		事後学習	学習指導案(略案)の様式、作成方法について確認整理する。
第11回	学習指導案の作成(2) *グループ毎に学習指導案(略案)を作成①	事前学習	学習指導案(略案)の素案を作成してくる。
		事後学習	学習指導案(略案)の素案修正を確認・整理する。
第12回	学習指導案の作成(3) *グループ毎に学習指導案(略案)を作成② ~学習指導案(略案)の成案(完成原稿)提出~	事前学習	グループ毎に学習指導案(略案)について成案(完成原稿)を考えてくる。
		事後学習	グループ毎に学習指導案(略案)の成案(完成原稿)をもとに、模擬授業の準備をする。
第13回	グループワークによる模擬授業(1)	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。
第14回	グループワークによる模擬授業(2)	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。
第15回	まとめ(「教育方法論(中等)」の学びを振り返って)	事前学習	教科書、配布プリント等の内容で、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	全15回の授業内容について整理し、期末試験の準備を行う。
期末試験			